

第2章 環境目標の進ちょく状況等について

1. 環境目標の進ちょく状況

目標 1

よりよい環境をめざして多様な主体の
パートナーシップで取り組む



豊中市の2021年度の取組み

- ◆ 動画共有サイト YouTube「とよなか環境TV」にて、随時環境に関する情報を発信
- ◆ 西宮市、尼崎市、吹田市と、地球温暖化対策の自治体間連携に関する基本協定を締結
- ◆ 隠岐の島町、能勢町と森林環境保全に関する自治体間連携協定を締結

家庭でできること

豊中アジェンダ 21 を推進しよう

豊中アジェンダ 21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）には、豊中市に関わる一人ひとりの具体的な行動提案が書かれています。

Youtube「とよなか環境TV」も参考に、今日から始めましょう。



事業所でできること

環境への取組み情報をホームページに公開しよう

環境問題に取り組むことと、その取組みを広く発信することは、これからの事業活動の発展に欠かせない重要なアクションです。「とよなか市民環境会議」ホームページでは、市内の環境の取組みを多数紹介しています。



環境審議会評価

- ・今回の協働の取組みに関する意見交換会の議論から、さまざまな世代の多様な主体が相互に協力しながらリユース・リサイクルのしくみを作っており、つながりを広げていることなどが豊中市の特長といえます。また、多様な人々が協働でつながることで、単独では難しかった課題が解決したり、協働で取り組むことを通じて、コミュニティ活性化などの副次的な効果も生まれています。更に、こうした信頼関係や相互の繋がりそのものが、地域の力となり、まちが持つ重要な価値の一つとなっていることもわかりました。こういった成果を広く共有することで、より協働の取組みが進んでいくと思われまます。
- ・環境関連の各種イベントや講座等については、コロナ禍の影響で、対面での開催が難しい状況が続いていますが、インターネットを最大限活用し、オンラインイベントや SNS、動画等、さまざまな手法で創意工夫を行い、普及啓発活動の新たな取組みが進んでいます。

2021年度の協働の進ちょく状況

「協働の取組みに関する意見交換会」のテーマは
「持続可能なごみ減量の推進」です。

◆集団回収の取組み◆

曾根グリーンハイツ
 豊中市 家庭ごみ事業課

市の実施する再生資源集団回収活動を通じて安否確認を行った
 り、集団回収の報奨金を住民のサークル活動等に充てるなどし
 て、コミュニティを活性化。



- ・少子化高齢化等による登録団体数の減少

◆子ども服リユースの取組み◆

(一社)ソーシャルギルド
 豊中市 家庭ごみ事業課
 豊中市創造改革課
 (団体同士の引き合わせ)

市が回収した子ども服を無償提供するイベントを企画・実施が
 実現。子育て世帯の生活支援や、親同士のつながりづくりに
 寄与。



- ・仕組みづくりとそれに係る資金調達
- ・市民ニーズの把握

◆機密書類リサイクルの取組み◆

NPO 法人とよなか市民環境会
 議アジェンダ 21
 豊中商工会議所
 豊中市事業ごみ指導課
 豊中市伊丹市クリーンランド

上記団体が連携し、機密書類の溶解処理によるリサイクルを安価に
 提供。紙ごみ削減と中小事業所のリサイクル活動を後押し。



- ・施設内のスペースや安全管理の関係上、事業規模の拡大には対応できない状況

協働団体

協働の取組み紹介

課題

今後の展望、活動のヒント



課題：継続性・発展性

解決のために必要なこと

関係者の意識づけ

他の世代への継承

ビジネスモデルの構築

気軽に参加できる仕組みの構築

未参加者へのアプローチ

他団体とのつながり

人とのつながり

- ・近隣住民
- ・親同士
- ・協働相手

コミュニティの活性化

新たな課題への対応

協働することで
 解決する力に

単独で解決するのは難しいけれど…

さらに 協働による副次的
 効果生まれる

目標
2

1人あたり温室効果ガス排出量（t-CO₂）を令和9年度（2027年度）までに、平成2年度（1990年度）比32.1%削減し、低炭素社会をめざす



豊中市の2021年度の取組み

- ◆ 温室効果ガス排出量実質ゼロに向け、第2次豊中市地球温暖化防止地域計画を改定
- ◆ 市民向けの省エネルギー化推進の取組みとして、家電の買い替えキャンペーン、住宅の健康診断、でんきの「見える化」モニター、エコドライブキャンペーンなどを実施
- ◆ 再生可能エネルギー、エネファーム、窓断熱リフォーム、ZEHへの補助金事業などを実施

家庭でできること

環境にやさしいエネルギーを使おう



大阪府では、太陽光パネル・蓄電池を共同購入する参加者を募集しています。自分だけで買うより、みんなでまとめて買う方がお得！厳しい条件をクリアした施工事業者のみ参加できるしくみなので、安心して購入を検討することができます。

事業所でできること

燃料電池自動車を導入しよう



燃料電池自動車とは、水素と酸素の化学反応によって発電し、モーターで走る二酸化炭素を排出しない自動車です。豊中市役所では、燃料電池自動車「MIRAI」を導入し、環境関連のイベントなどで市民の皆さんにご紹介しています。

取組紹介

再エネ100%電力の利用

学校法人あけぼの学園・社会福祉法人あけぼの事業福祉会

園では、子どもたちの将来を見すえ、持続可能なエネルギー利用や暮らしを实践する一環として、再エネ100%の電力を導入したり、オーガニック給食等に取り組んでいます。こうした園の取組みを保護者に伝えることで、家庭でも環境について考えるきっかけとなっています。



省エネルギー設備の導入

マリンフード株式会社

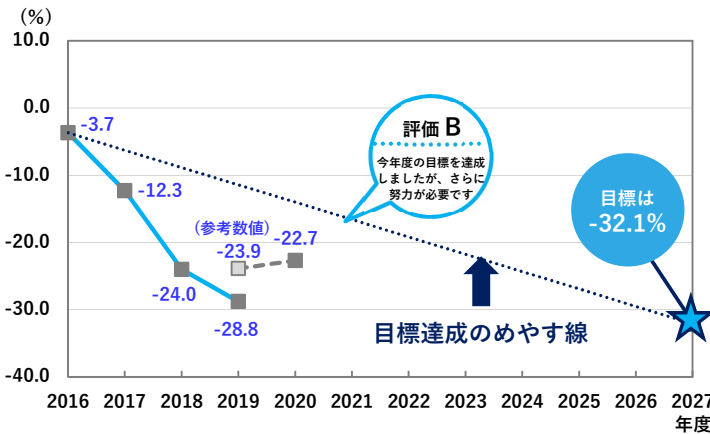
LED化や熱回収コンプレッサー等のハード面で、積極的な省エネルギー化に取組み、令和3年度に豊中市エコ市民賞を受賞しました。豊中工場ではLEDの交換がほぼ完了し、2021年度からは、捕虫器に設置する誘虫灯のLED化にも取組み始めました。

環境審議会評価

- ・今回から市域の総販売電力量が把握できるようになり実態に近い数値が出せるようになったため、前年との比較はできませんが、1人あたりの温室効果ガス排出量は目標達成のめやすを下回っており、これまでの取組みの成果が表れているものと考えられます。
- ・令和2年度（2020年度）は、コロナ禍の影響で市民のライフスタイルやビジネススタイルが変化し、これに伴いエネルギーの使い方も大きく変化しています。このような変化も踏まえ、昨年度改定した地球温暖化防止地域計画に基づき、2050年ゼロカーボンに向けてめざすべき方向性をしっかりと見すえて、建物や設備機器の省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用などのハード対策を着実に推進するとともに、日常的な取組みを徹底する意識を醸成するなど、取組みを着実に推進する必要があります。

指標の進ちょく状況

代表指標 温室効果ガス排出量^{※1} (t-CO₂/人)



市民1人あたりの温室効果ガス排出量は、目標達成のめやすを下回っています。令和2年度からエネルギー消費量の算定のもととなる市内の総販売電力量を把握できるようになり、令和元年以前と比較ができないため、前年度比については参考となりますが、前年度からやや増加したと考えられます。

エネルギー消費量全体はほぼ横ばいであることから、電力の排出係数の増加の影響を受けたと考えられます。

図中の2019年度参考数値について詳しくはp.30「解説コーナー」にて



※1 電力の使用に伴う温室効果ガス排出量は、市内に供給する各電力事業者の毎年の排出係数（基礎排出係数）を使用して算出した推計値を用いています。

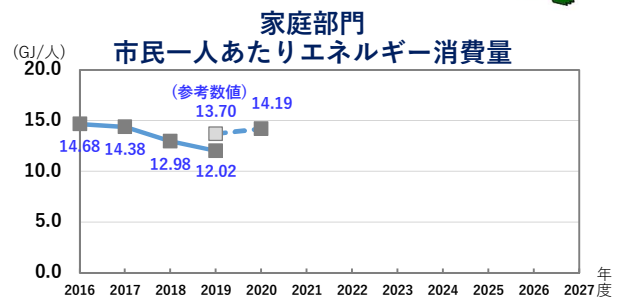
家庭部門 市民一人あたりエネルギー消費量

電力の消費量が前年度から増加

(前年度から 0.49GJ/人増加)

年間 **14.19GJ/人**

目標は減少



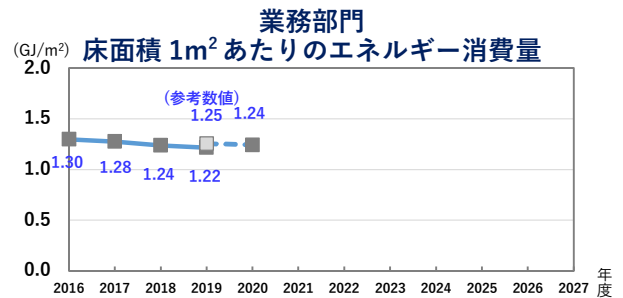
業務部門 床面積1m²あたりのエネルギー消費量

電力・都市ガスの消費量が前年度から減少

(前年度から 0.01GJ/m²減少)

年間 **1.24GJ/m²**

目標は減少



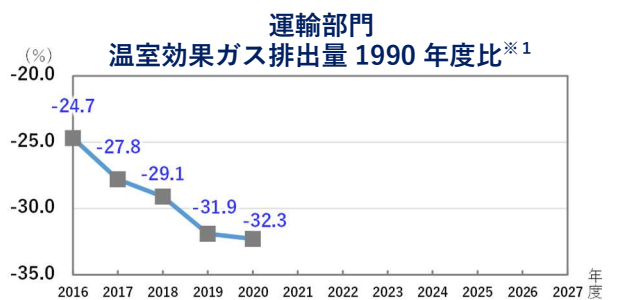
運輸部門 温室効果ガス排出量1990年度比^{※1}

乗用車の減少、自動車の低燃費化が促進された影響で減少傾向

(前年度から 0.4ポイント減少)

年間 **32.3% 減少**

目標は減少



その他の指標

指標	目標	評価の判断基準		
		前回値 2019年度	直近値 2020年度	
部門別温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)平成2年度(1990年度)比(%) ^{※1}	家庭部門	減少	-18.3	+4.6
	業務部門	減少	-7.8	-3.6
	運輸部門	減少	-31.9	-32.3
	産業部門	減少	-61.7	-62.2
	廃棄物部門	減少	+19.9	+5.1
市民1人あたり自家用車の登録台数 (台/人)	減少	0.245	0.245	
市内に登録された自動車1台あたりの温室効果ガス排出量 (t-CO ₂ /台)	減少	1.416	1.400	

評価の判断基準

環境基本計画の進行管理として、目標2・4は、代表指標に目安線をひいています。目安線と数値の関係や前年度との比較でA～Dをつけています。目標3は、第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画の年度目標値に比較して評価をつけています。

- A** 今年度の目標を達成しました
目標達成のめやす以下かつ前回値以下
- B** 今年度の目標を達成しましたが、さらに努力が必要です
目標達成のめやす以下かつ前回値より大きい
- C** 改善の傾向にありますが、更なる努力が必要です
目標達成のめやすより大きく、前回値以下
- D** 改善の傾向がありません
目標達成のめやすより大きく、前回値より大きい

備考：目標4は以上を以下、以下を以上に読み替える。大きいを小さいに読み替える。目標5は、すべての環境基準を達成した場合「A」、達成していない場合「D」をつけています。

目標
3

発生抑制・再使用と質の高いリサイクル(再生利用)の推進により、ごみの焼却処理量を令和9年度(2027年度)までに平成28年度(2016年度)比8%削減し、循環型社会の構築をめざす



豊中市の2021年度の取組み

- ◆ 排出されるごみのうち、大きな割合を占める食品ロスの削減に向け、食品ロス削減推進計画を策定
- ◆ プラスチックごみの削減に向け、市内公共施設6か所に給水機を設置
- ◆ 使用済小型電子機器等の再資源の促進に関する協定をリネットジャパン株式会社と締結

家庭でできること

充電式電池の処分はお近くの回収ボックスへ

スマートフォンやデジタルカメラ等の小型家電製品の多くに使用されている充電式電池は、不燃ごみとして排出されると収集車両や処理施設の火災事故につながります。

充電式電池は、市内の公共施設や商業施設に設置している回収ボックスで回収しています。

詳しくは市ホームページをご確認ください。

事業所でできること

需要予測で食品ロスの削減に取り組みましょう

これまで経験と勘に頼っていた来客予測を、データ分析やAI活用などで体系的に行う動きが進んでいます。

季節や気温、天候、販売データなどから商品の需要予測を行い、作り過ぎ、仕入れ過ぎによるロスの廃棄量を減らしましょう。

取組紹介

豊中市 LINE 公式アカウントで
ごみの分別方法を検索

家庭ごみ事業課

チャットボット(自動応答)によるごみの分別案内サービスを開始。ごみと再生資源の分別に関する質問に24時間、AIが自動で応答します。



初の優秀エコショップに認定

(株)ダイエー daiei

「ダイエー」は、「ごはんがおいくなるスーパー」というスローガンを掲げて、「食」を基軸とした様々なライフスタイルに応じた商品・サービスを提供するとともに、社会・環境に貢献する活動に取り組んでいます。

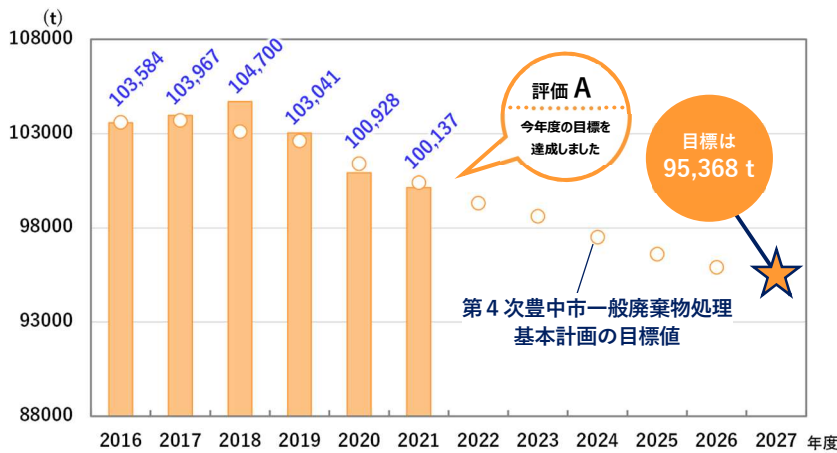


環境審議会評価

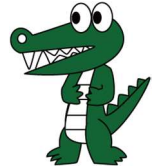
- ・令和2年度(2020年度)以降、コロナ禍の影響で家庭における消費の機会が増える新しい生活様式が定着化し、それに伴い家庭系ごみの排出量が増加しています。特に、テイクアウトの利用増によるプラスチックごみや食べ残し・手つかず食品等による食品ロスの増加が見込まれることから、発生抑制・再使用・質の高いリサイクルをより一層推進し、それらの削減に取り組む必要があります。
- ・今後は事業活動が徐々に再開され、事業系ごみ排出量の増加が予測されますが、現状の水準を維持するよう、引き続きごみの削減に取り組む必要があります。

指標の進ちょく状況

代表指標 焼却処理量 (t)



コロナ禍が続き、家庭系及び事業系ごみの排出量の割合が大きく変化し、家庭系ごみの排出量が増えています。年間の焼却処理量は減少しており、ごみの減量が進んでいます。

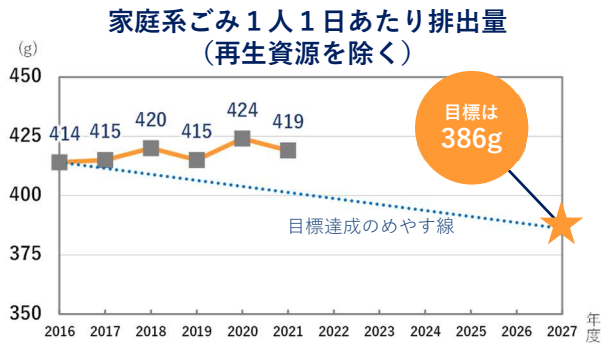


家庭系ごみ1人1日あたり排出量 (再生資源を除く)

コロナ禍による新たな生活様式が定着化し、発生抑制及びリサイクル率の向上等により、排出量が減少したと推察

(対前年 5.0g 減少)
目標値は約 386g

年間
419g

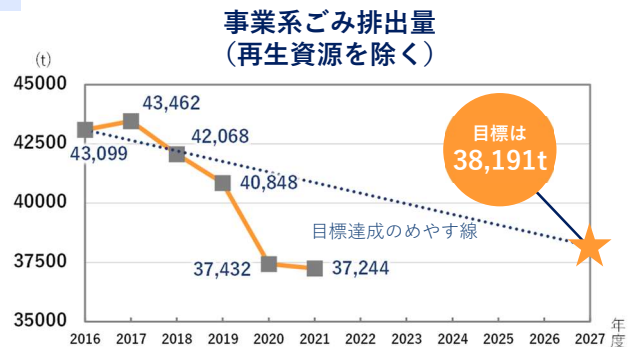


事業系ごみ排出量 (再生資源を除く)

コロナ禍による休業要請や事業活動の自粛等が続いたこともあり、排出量は減少

(対前年 188t 減少)
目標値は約 38,191 t

年間
37,244t

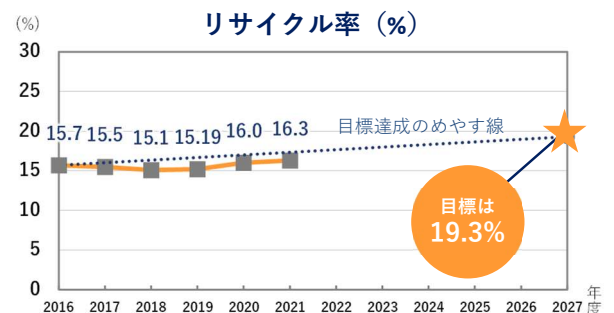


リサイクル率

リサイクル率は上昇していますが、これは、コロナ禍が続き、宅配やテイクアウトの利用増に伴い容器包装等の利用が増加し、再生資源量が増加したことが要因

(対前年 0.3 ポイント増加)
目標値は約 19.3%

年間
16.3%



目標
4

みどり率 27%で
心豊かな豊中らしいまちをめざす



豊中市の 2021 年度の取組み

- ◆ 緑化重点地区に定める市南部地域において「みどりのフォーラム」、「みどりのつどい」を初開催。広く緑化の啓発を実施
- ◆ みどりの現状および緑被量の把握・分析を行うため、緑被量調査を実施
- ◆ 多様な視点からみどりに対する市民の意見を整理するため、市民意識調査を実施

家庭でできること

みんなで作ろう 花とみどりの名所

花いっぱい運動や公園自主管理活動など市民の地域活動により維持され、多くの人に親しんでもらっている花壇などを「みんなで作る花とみどりの名所」として、その団体や活動とともに市ホームページやイベント等で紹介しています。ぜひご参加・ご応募ください。

詳しくは 公園みどり推進課まで (06-6843-4141)

事業所でできること

公園や道路など公共の場をみんなできれいに！
～アダプト活動～

アダプトとは「養子にする」という意味。公共の場所を我が子のように面倒を見て手入れする活動をアダプト活動といいます。

豊中市では、アダプト活動団体名を表示したサインボードの設置、清掃用具の貸出し等を行っています。

詳しくは 美化推進課まで (06-6858-2276)



取組
紹介

身近な里山「島熊山」を守る活動

島熊山緑地協議会

島熊山は、万葉集にも詠まれる歴史に名を残す山で、市内で最も多くの在来の植物が見られ、数多くの野鳥や昆虫などが生息する里山です。現在は、島熊山緑地協議会が中心となって市と協働で保全活動や自然観察会を続けています。



地域の清掃活動への取り組み

大商学園高等学校

豊中市のアダプト活動として、阪急電鉄服部天神駅から大商学園高等学校までの通学路を中心に、運動系クラブに所属している生徒と顧問の教諭が清掃活動を行っています。たばこの吸殻などをポイ捨てしにくい地域づくりにこれからも取り組んでいきます。

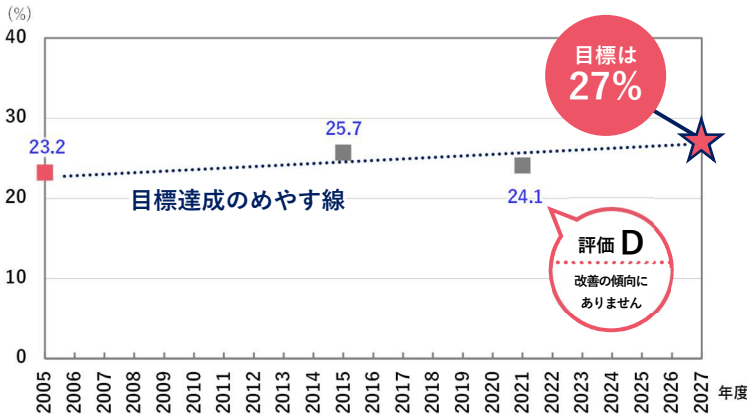


環境審議会評価

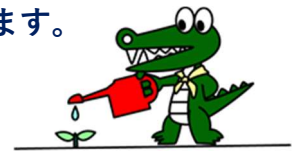
- ・みどり率は、里山保全活動など、みどりを守り育てる活動が行われているものの、開発行為等の要因で前回調査より樹林・樹木が減少しており、公園や道路だけでなく私有地についても、敷地内緑化等の更なる推進による、みどりの確保や育成に取り組む必要があります。
- ・一方、みどりに対する満足度は引き続き目標値を満たしており、市民が身近なみどりに目を向け、愛着をもってみどりに接するよう、継続的に啓発を行っていく必要があります。
- ・昨年度に引き続き、コロナ禍の影響でイベント等を中止・縮小した影響があるものの、昨年度に比べて改善傾向が見られることから、引き続き市民ニーズに応じたイベントを開催するなど、参加者数の増加を目指す必要があります。

指標の進ちょく状況

代表指標 みどり率 (%)



代表指標のみどり率は、開発行為や自然災害の影響による樹林・樹木の減少、草地・芝地・屋上緑化の増加や樹木の生育状況を総合して、減少傾向となっています。



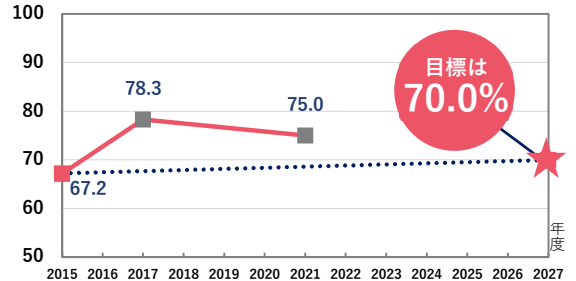
みどりに対する満足度

前回調査（2017年度）の78.3%よりやや減少しているものの、目標値（70.0%）以上で推移

（前回から3.3ポイント減少）
目標値は70.0%

75.0%

みどりに対する満足度 (%)



みどりに関するイベント参加者数

コロナ禍の影響で、中止となるイベントも多い中、対策を講じて開催したイベントもあり、前年度より増加

（2018年度からの累計36,005人）
目標値は累計150,000人

年間
5,691人

みどりに関するイベント参加者数 (人)



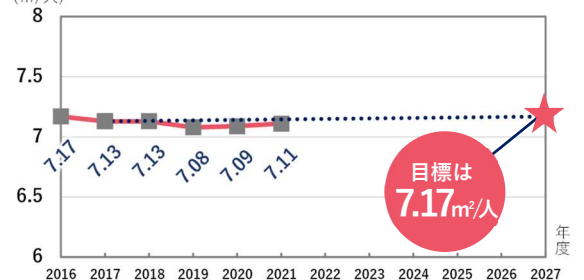
市民1人あたりの公園・緑地面積

公園面積に変更はありませんが、人口が減少したため、昨年度より微増

（前年度から0.02 m²/人増加）
目標値は7.17 m²/人

累計
7.11 m²/人

市民1人あたりの公園・緑地面積 (m²/人)



その他の指標

指標	目標	前回値 2020年度	直近値 2021年度
緑被率 (%)	15.7%	14.4%	12.9%
市民参加による生物調査の参加者数(人)	増加	90人	70人
生物多様性の認知度 (%) （「言葉の意味を知っていた」の回答比率）	増加	—	26%
景観に関する項目が盛り込まれている 地区計画・協定等の数 (件)	増加	48件	49件

目標
5

環境基準の達成状況 100%で
快適な都市環境をめざす



豊中市の 2021 年度の取組み

- ◆ 一時的に暑さから逃れ休憩できる「クールスポット」を市有施設約 70 か所に設置
- ◆ 工場、事業場に水質汚濁や大気汚染防止のための立ち入り検査
- ◆ 開発行為において、壁面緑化や屋上緑化など多様な緑化計画を協議

家庭でできること

打ち水で夏の暑さをやわらげよう！

打ち水は、地面の表面温度を下げる昔ながらの暑さ対策。朝に打ち水をすると地面の温度上昇がゆるやかになり、夕方に打ち水をすると夜の寝苦しさをやわらげてくれます。

ベランダにも効果的。

お風呂の残り湯などを利用することで、さらにエコに！



事業所でできること

アスベストを適切に処理しましょう

大気汚染防止法が改正され、すべての石綿を含有する建築材料が規制の対象になりました。

解体等工事では、発注者と施工者が、法に基づき石綿に関する事前調査、適切な石綿飛散防止対策を行う必要があります。 [大阪府ホームページ](https://www.pref.osaka.lg.jp/jigyoshohido/asbestos)



<https://www.pref.osaka.lg.jp/jigyoshohido/asbestos>

取組
紹介

豊中市伊丹市クリーンランドが
第 15 回おおさか優良緑化賞を受賞

豊中市伊丹市クリーンランド

「森の中の再生工場」をコンセプトに、建物の壁面緑化や芝生ひろばを整備するなど、市民に愛され、地域の景観形成にも寄与する空間づくりを進めています。



無添加コロッケを通じた環境への取り組み
合同食品株式会社

小さな子供にも安心できる素材と製品づくりを追求し、材料の生産から販売まで人に優しい無添加素材を使用。

地元豊中産無農薬ジャガイモの使用など環境に配慮した取組みでエコ市民賞を受賞しました。

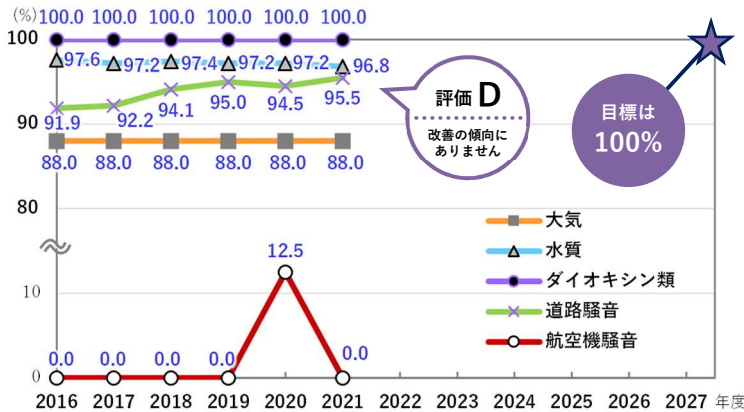


環境審議会評価

- ・生活環境について、航空機騒音を除いては、道路騒音が年々改善するなど、市民や市の取組みの成果が現れています。
- ・今後、地球温暖化の影響により熱帯夜や短時間の大雨の増加などが予想されるため、引き続き気候変動の緩和策と適応策の両面から施策を推進する必要があります。

指標の進ちょく状況

代表指標 環境基準達成状況 (%)



大気は、光化学オキシダント以外はすべて基準を満たしています。

水質は、pH及び大腸菌群数以外はすべて基準を満たしており、良好な水質を維持しています。

ダイオキシン類は環境基準達成率100%、道路騒音は、環境基準達成率が年々向上しています。

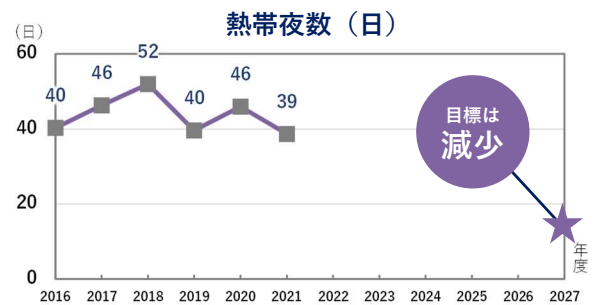


熱帯夜数 (3地点平均日数)

平年よりも雨の日が多く、これに伴い熱帯夜数も減少

(前年度から7日減少)
目標は減少

年間
39日

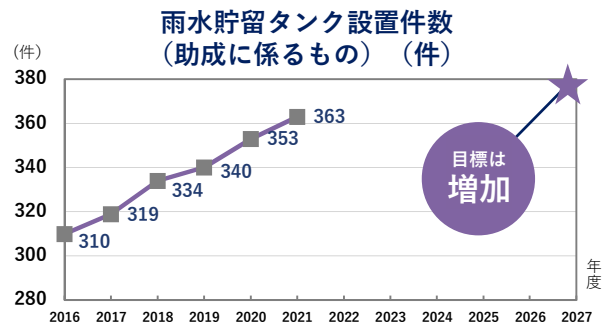


雨水貯留タンク設置件数 (助成に係るもの)

昨年度に比べ、減少しましたが、一定数の需要があると想定

(今年度10件、前年度13件)
目標は増加

累計
363件

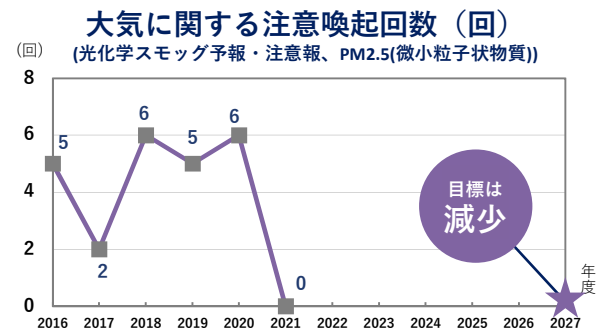


大気に関する注意喚起回数

光化学スモッグ注意報等の注意喚起発令はありませんでした

(前年度から6回減少)
目標は減少

年間
0回



その他の指標

指標	目標	前回値 2020年度	直近値 2021年度
1日1人平均給水量 (L)	減少	301 L	297 L
透水性舗装の累計面積 (m ²)	増加	38,614 m ²	47,167 m ²
雨水貯留タンク設置件数・容量 (助成に係るもの)	容積容量 (L)	71,391 L	73,192 L
	雨水利用累積件数 (件)	10件	10件
環境配慮のうち雨水利用に関するもの	容積容量 (L)	178,585 L	178,435 L

2. 環境審議会や市民等の意見に対する市の考え方

(1) パネル展におけるアンケート

「とよなかの環境 2021年度（速報版）」について、下記の日程でパネル展示アンケートを行い、148人の方から回答をいただきました。

その中で、市政に関して記述されたご意見については76件でした。



千里公民館



市役所本庁ロビー

パネル展及びアンケート調査の実施状況

日程	場所	アンケート回収数
9月27日（火）～29日（木）	中央公民館	3
10月5日（水）～7日（金）	本庁ロビー	109
10月12日（水）	千里公民館	0
10月18日（火）～20日（木）	庄内公民館	0
10月28日（金）	環境交流センター	34
その他WEBによる回答		2
計		148
内、市政に関して記述されたご意見の数		76



(2) 環境審議会や市民等の意見に対する市の考え方

目標
1

よりよい環境をめざして 多様な主体のパートナーシップで取り組む

市民からの主な意見

- 広報誌をはじめ、環境情報をどこでも見ることができるようにしてほしい。子どもにもわかりやすく、幅広い広報を行ってほしい。
- 自分にできることを考える機会になった。できるところから始めたい。
- 学生が参加できるボランティア活動が増えてほしい。
- 協働して取り組む姿勢は素晴らしいと思う。
- 他市との協定は積極的に進めてほしい。

など 28 件

審議会評価や市民からの意見に対する市の考え方

- さまざまな機会に情報を発信できるよう、配布物や掲示物だけでなく、インターネットの動画や SNS 等を活用したり、学校やこども園への出前講座等を行っています。今後も幅広い情報発信を充実していきます。
- 市民の皆さんの環境に配慮した行動を後押しできる情報を発信するとともに、市民主体の環境保全活動を支援します。
- 市域を越えた自治体連携も含め、今後も多様な主体が力を合わせることで、より良い環境の実現をめざします。



豊中市は、能勢町・隠岐の島町と森林環境保全に関する自治体間連携協定を締結しています。

両町の木材製品を豊中市で利用することで、両町の林業サイクルをの維持を支援するとともに、自然とのふれあいや環境学習に活かします。

目標
2

1人あたり温室効果ガス排出量(t-CO₂)を令和9年度(2027年度)までに、平成2年度(1990年度)比32.1%削減し、低炭素社会をめざす

市民からの主な意見

- 家庭からの排出が多いことが分かったが、省エネ機器に取り替えるのはなかなかできない。
- ゼロカーボン社会に向けて、市だけではなく事業者との取組みが必要。
- 水素自動車は高額のため手が出ない。
- 自転車の路上駐輪を減らしてほしい。自転車専用レーンを増やしてほしい。

など8件

審議会評価や市民からの意見に対する市の考え方

- 省エネルギー性能の高い設備・機器は、長い目で見ると経済的にもメリットがあることから、更新時期や引っ越し時期など、タイミングに合った適切な機器選びができるよう、さまざまな情報発信やキャンペーン等を行っていきます。
- 自動車販売事業者と協定を締結し、燃料電池自動車を活用した環境学習を実施するなど事業者とも協力し取組みをすすめており、今後も多様な主体と連携して脱炭素社会の実現をめざします。
- 電動車の普及促進のため、令和5年度から、事業者が行う電気自動車(EV)、燃料電池自動車(FCV)、プラグインハイブリッド車(PHV)の導入について、国の補助制度とも連動しつつ、補助を行います。
- 自転車や徒歩で快適に移動できるよう、自転車レーン等の環境整備や、放置自転車の削減、自転車マナーの啓発を進めます。
- 近年の自転車利用者の増大に伴う安全対策や、自動車から自転車への利用を促進する環境対策のニーズが高まっていることから、「豊中市自転車ネットワーク計画」に基づき、自転車の安全で快適な利用環境を創出して、人が主役となる安全で快適な道の整備に取り組めます。



市民向けの省エネ関連情報やキャンペーンなどをお知らせしています。
<https://www.toyonaka5070.jp/index.html>



目標
3

発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再生利用）の推進により、ごみの焼却処理量を令和9年度（2027年度）までに平成28年度（2016年度）比8%削減し、循環型社会の構築をめざす

市民からの主な意見

- ごみの分別収集をさらに進める必要がある。
- ごみの分別がわかりづらく困る。
- 子ども服のリユースはとても助かっているのを継続してほしい。
- 給水スポットを増やしてほしい。

など 30 件

審議会評価や市民からの意見に対する市の考え方

- コロナ禍等により、テイクアウト容器や食べ残し等のごみの増加が生じていることを市民に知ってもらい、ごみの削減の意識に繋げていただくよう、啓発を行います。
- 市民の皆さんがスムーズに分別できるよう、分かりやすく分けやすい分別収集を周知するとともに、チャットボット（自動応答）によるごみの分別案内等新たな情報サービス（⇒8 ページ参照）の周知に努めます。
- イベント用の分別ごみ箱の無料貸し出しを行っています。
- 子ども服のリユースは、豊中市内のこども園等で、着なくなったまだ使える子ども服などを集め、地域の団体（自治会やボランティア団体等）がリユースイベントなどで必要とする方に提供する取組みです。市では、地域で取り組まれるこのようなりユース活動を支援します。
- 給水スポットは、設置に協力いただける施設等と調整しつつ継続します。

**自治会等で子ども服リユースを
開催してみませんか？**

家庭ごみ事業課では子ども服を無償で提供する団体（自治会や保護者会など）に回収しだりユース子ども服を提供しています。詳しくは下記までお問い合わせください。

子ども服リユースとは？

豊中市内のこども園等で着なくなった、まだ使える子ども服などを集めて、捨てるのではなく必要な人に使っていただくことにより、資源の有効利用及びごみの発生抑制を目的としています。

子ども服リユース実施までの流れ

- 1 家庭ごみ事業課に申し込む
- 2 子ども服の貸し出しを受ける
- 3 子ども服リユースイベント開催する
- 4 イベント開催の報告書提出及び残った子ども服を返却する

豊中市 環境部 家庭ごみ事業課
豊中市走井Z丁目5-5 TEL 06-6843-3512

子ども服リユースの開催を案内しています。
https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kurashi/gomi_risaikuru_bika/genryou_recycle/kodomofuku_reuse/kodomofukukaisai.html



目標
4

みどり率 27%で心豊かな豊中らしいまちをめざす

市民からの主な意見

- 自然やみどりを増やしてほしい。
- 開発などでみどりが減少していく中で、みどり率をどう維持、拡大していくかは非常に難しい問題である。

など9件

審議会評価や市民からの意見に対する市の考え方

- 道路や公園等の公共空間だけでなく、「豊中市環境配慮指針」や緑化を支援する制度等により、住宅地、商業地、工業地等においても緑化を推進していきます。
- 住宅や事業所等での生垣の設置に対して助成を行っています。令和4年度からは、同制度を拡充したほか、新たに「3軒からのご近所緑化支援制度」を開始し、ご近所の3軒以上で沿道にお花やみどりを植える場合に資材購入費用の一部を助成しています。
- みどりに関する情報発信、イベントの開催、緑化リーダーの養成等、市民主体の緑化活動を支援していきます。

花とみどりの相談所では、専門の相談員を中心に園芸相談・講習会などを行っています。

また、地域で緑化を推進する人材の育成のため、緑化リーダー養成講座を実施しています。



花とみどりの相談所

阪急曽根駅から南へ徒歩5分
曽根南町1-4-1(豊島公園内)



目標
5

環境基準の達成状況 100%で快適な都市環境をめざす

市民からの主な意見

- 空港がある以上騒音問題は避けられないと思います。

1件

審議会評価や市民からの意見に対する市の考え方

- 環境基準の達成率の向上については引き続き努力しつつ、その評価においては、改善の成果が見えるような工夫を検討します。
- 公害対策のほか、市民の生活環境の安全性や快適性を高めるため、近年増加傾向にある異常気象への適応策等を推進します。

3. 令和4年度（2022年度）以降の主な事業

●令和4年度（2022年度）の実施事業

《目標1》

事業名称	内 容	主な 担当部局
環境学習の推進	持続可能な開発のための教育に取り組む団体等をE S Dリソースセンター（WEB）を通じて市民等へ取組み内容の発信を行いました。 燃料電池自動車を活用し、エコカー普及啓発を図りました。	環境政策課
とよなか市民環境展	市民・事業者・行政の環境問題解決に向けての取組みの発表と交流の場を設け、行動計画「第3次豊中アジェンダ21」の普及啓発を図りました。	環境政策課
環境交流センター 運営管理	地球環境の保全、環境への配慮および資源・エネルギーの有効利用と廃棄物の減量のための活動・交流の場を提供、情報の収集および提供、講座等の開催および啓発などを実施しました。また、豊中市環境交流センター指定管理者選定評価委員会を開催し第3期指定管理者を選定しました。	環境政策課
環境基本計画の推進	「第3次豊中市環境基本計画」に基づく施策・事業の進行管理を図るとともに中間見直しを行いました。	環境政策課
豊中アジェンダ21 の普及促進	行動計画「第3次豊中アジェンダ21」に基づく市民、事業者などの環境配慮活動の普及促進を図るとともに、「第3次豊中アジェンダ21」の中間見直しを実施しています。 また、主な活動推進団体である「NPO法人与よなか市民環境会議アジェンダ21」と連携し、計画の啓発や実践活動を支援しました。	環境政策課

《目標2》

事業名称	内 容	主な 担当部局
地球温暖化対策 実行計画の推進	<p>「第4次豊中市地球温暖化対策実行計画」に基づき、省エネ機器の更新、省エネ活動、再生可能エネルギーの導入など、市の直接的な事務事業を対象とする温室効果ガスの排出抑制を推進しました。</p> <p>グリーン購入法に適合した文具や再生紙割合の高い紙の購入など、グリーン購入の取組みを進めました。2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを目的とした政府実行計画の改定にあわせ「第4次豊中市地球温暖化対策実行計画」の中間見直しを行いました。</p> <p>市域で発電した電力を市域で消費する「電力の地産地消可能性調査」を行いました。隠岐の島町と自治体間連携協定に基づき、「CO₂吸収量認証制度」を活用したカーボンオフセット事業を実施しました。</p>	環境政策課
地球温暖化防止 地域計画の推進	<p>「第2次豊中市地球温暖化防止地域計画（改定）」に基づき、市民・事業者に向けた地球温暖化対策の普及啓発や、省エネルギー行動へのエコポイントチケットの発行を通して市域の温室効果ガスの削減を推進しました。また、市民の省エネルギー行動へのインセンティブとして発行しているエコポイントチケットをデジタル地域ポイントに移行しました。</p> <p>大阪府と連携して太陽光パネルや蓄電池のグループ購入事業やナッジを活用した啓発を実施しました。</p>	環境政策課
スマートハウス等 支援補助金	<p>住宅の省エネルギー性能の向上を図り、家庭部門における温室効果ガスの削減を推進するため、市内の住宅におけるスマートハウス化に関する補助金を交付するとともに周知啓発を行いました。</p>	環境政策課
交通対策事業	<p>人口減少・少子高齢化の進展などにより、公共交通を取り巻く環境は変化しており、この確保・維持が課題となるなか、「公共交通改善計画」に基づき、市城南側の東西方向を結ぶ新規バス路線の運行や、西部地域および南部地域でデマンド型乗合タクシーを運行するなど、公共交通網の充実を図るとともに、環境にやさしい公共交通の利用を推進しました。</p> <p>また、関係機関との連携・調整を行い持続可能な公共交通網の構築を図りました。</p>	交通政策課

《目標3》

事業名称	内 容	主な 担当部局
廃棄物関連計画の 推進	「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」および「第4次豊中市ごみ減量計画」に掲げる事業の実施並びに成果指標・モニター指標を使った計画の進行管理を行うとともに、両計画の中間見直しを行いました。	減量計画課
ごみ減量普及啓発事 業	地域のイベント等におけるフードドライブを支援するなど食品ロス削減の取組みやNATSと連携したマイボトル持参促進等によるプラスチックごみの削減に取り組み、ごみの減量を促進しました。 また、市民への発信力の強化として、動画共有サイトYouTube「とよなか環境TV」による動画の配信など、ごみ減量に関する様々な情報を効果的に発信しました。	減量計画課
エコショップ	豊中エコショップ制度を市民・事業者・行政が協働で実施し、「豊中エコショップ」認定店舗の拡大および認定店舗におけるステップアップ基準の運用等、取組みの推進に向けた活動を行うとともに、エコショップガイドブック等を活用し制度の市民周知を進めました。	減量計画課
事業ごみ減量対策 事業	事業活動に伴い多量の一般廃棄物を排出する事業所に対して、ごみ減量計画書の提出を求め、それに基づき取組み状況を確認し、助言するとともに、他の事業所での先進的な取組み事例等の紹介を情報誌の発行を通して提供するなど、事業者の自発的な取組みを支援しました。	事業ごみ 指導課
再生資源集団回収 報奨金交付事業	再生資源を回収する登録市民団体や行商者に対して、再生資源の回収量に応じた報奨金を交付しました。 リサイクルの推進に向けて、多くの市民に集団回収活動に参加していただけるよう、未実施である地域団体への積極的なPR活動を展開し、新規登録団体の獲得を図るとともに、既存の登録団体に対しても回収量増に向けた働きかけを行い、地域コミュニティの維持、活性化に繋げていきました。	家庭ごみ 事業課
分別周知事業	市民から、ごみの分別を通した3R推進の取組みへの理解と協力を得るため、広報活動の充実化として、ごみカレンダーの作成・全戸配布等の取組みにより、市民サービスの質的向上を図りました。	家庭ごみ 事業課
小型家電リサイクル 事業	公共施設等に専用の回収ボックスを常設し拠点回収を行い、ごみの減量及びリサイクルの推進を図りました。	家庭ごみ 事業課
リユース事業	家庭で不要となった子ども服や家具などをリユースすることにより、資源の有効活用及びごみの発生抑制を図り、ごみの減量を促進しました。	家庭ごみ 事業課

《目標4》

事業名称	内 容	主な 担当部局
みどりの基本計画 進行管理事業	計画目標およびモニター指標を用いて、施策に基づく事業の状況把握と評価を行うとともに、豊中市環境報告書「とよなかの環境」や市のホームページなどで進行管理に関する内容を公表し、施策に基づく事業の推進に反映しました。 また、計画運用開始から中間年度を迎えるため、計画の中間総括を実施しました。	公園みどり 推進課
緑化推進事業	民有地緑化推進のための新たな支援制度として「3軒からのご近所緑化支援制度」を開始しました、また、道路沿いに樹木1本の設置からでも助成を行えるよう「生垣緑化・沿道緑化助成金交付制度」へ制度を拡充しました。そのほか、市民や事業者等が取り組む緑化活動に対する支援として、引き続き緑化樹の配布や市民緑地設置管理計画の認定、緑地協定の認可等を行いました。	公園みどり 推進課
みどりの交流会 運営事業	市民との協働による、みどりのカーテンプロジェクト、花苗プロジェクト活動や「花とみどりの名所づくり」を推進するとともに、運営委員会等で企画するイベントにより、みどりの適正な保全や緑化活動を推進しました。また、育苗などの活動場所のふれあい広場 SEED の一般開放を行いました。	公園みどり 推進課
地域美化活動事業	公共の場所を個人・団体が自主的に清掃する「地域清掃活動」や、市と団体が清掃に関する役割について覚書を締結する「アダプト活動団体」、また、公共の場所に掲出された違法簡易広告物を除去する「とよなか美はり番」に対して、市がごみ袋の提供や清掃用具等の貸出し、ごみの収集等の支援を行いました。	美化推進課

《目標5》

事業名称	内 容	主な 担当部局
雨水貯留タンク設置 助成事業	市内で80リットル以上の雨水貯留タンクを設置する市民等に、タンクの購入費の一部を助成しました。	環境政策課
環境保全条例推進	開発事業等により市内で新たに開発される物件において、敷地内の緑化と雨水浸透面積の確保に関する環境配慮協議を受けました。	環境政策課

事業名称	内 容	主な 担当部局
空港周辺対策事業	<p>国や大阪国際空港の管理運営者等に対して、大阪国際空港周辺都市対策協議会(10市協)等を通じて行う空港及び周辺地域の環境・安全対策等の要望や協議により、安全運航の確保や航空機騒音の発生源対策、周辺対策や利便性の向上等の推進を図りました。</p> <p>遅延便の低減に向けた取組みの継続を関係機関に要望するとともに、遅延便取扱いのルール化と共通理解の形成に向けて、関係機関や地元住民との協議を行いました。</p> <p>航空機公害対策推進市民運動団体に対する活動費補助や空港周辺環境整備助成の活用により、周辺対策等の推進を図りました。</p>	空港課
水質汚濁関係業務	<p>市内の水質汚濁に係る公害の状況を把握し、公害防止に必要な措置を講じました。</p>	環境政策課
騒音・振動関係業務	<p>市内の騒音・振動に係る公害の状況を把握し、公害防止に必要な措置を講じました。</p>	環境政策課
大気汚染関係業務	<p>市内の大気汚染物質の常時監視などにより大気汚染に係る公害の状況を把握し、光化学スモッグやPM2.5の注意喚起について、市ホームページ、SNSなどを通じて迅速な周知を行いました。また、公害防止に必要な措置を講じました。解体等工事の状況を把握し、アスベストの発生・飛散防止対策に取り組みました。</p>	環境政策課

●令和5年度（2023年度）の事業

環境審議会と市民のみなさんからの意見を踏まえ、令和5年度（2023年度）はこれまで実施している事業も含めて以下に示す事業に取り組みます。

また15ページから19ページの「市の考え方」で示している内容に関連した内容について下線を引いています。

＜目標1＞

事業名称	内 容	主な担当部局	予算額 (千円)
環境学習の推進	環境に配慮したライフスタイルやビジネススタイルを実践できるよう、 <u>家庭や事業所、学校、地域団体</u> などにおける環境学習を推進します。また、 <u>脱炭素社会の推進に向けて導入した燃料電池自動車</u> を活用し、事業者と協働した普及啓発を実施します。	環境政策課	1,947
とよなか市民環境展	市民・事業者・行政の環境問題解決に向けての取り組みの発表と交流の場を設け、行動計画「第3次豊中アジェンダ21」の普及啓発を図ります。	環境政策課	2,200
環境交流センター運営管理	<u>地球環境の保全、環境への配慮及び資源・エネルギーの有効利用と廃棄物の減量のための活動・交流の場</u> を提供します。また、指定管理者の評価を行います。	環境政策課	22,190
環境基本計画の推進	「第3次豊中市環境基本計画」で定めたPDCAサイクルに基づいて施策・事業の進行管理を図り、豊中市環境報告書「とよなかの環境～2021年度速報版～」を公表するとともに市民等の意見を募集します。募集した意見等に対する施策への予算反映も含めた市の考え方を示す、豊中市環境報告書「とよなかの環境～2021年度評価と今後に向けて～」を年度末に公表します。	環境政策課	8,460
豊中アジェンダ21の普及促進	地球環境を守る市民・事業者・行政の行動計画「第3次豊中アジェンダ21」に基づく市民、事業者などの環境配慮活動の普及促進を図ります。また、「第3次豊中アジェンダ21（改定版）」を策定します。 さらに、同計画の環境プラットフォームである「NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21」と協働し、計画の進行管理や啓発、実践活動を支援します。	環境政策課	4,723

《目標2》

事業名称	内 容	主な 担当部局	予算額 (千円)
地球温暖化対策 実行計画の推進	【拡充事業】「第4次豊中市地球温暖化対策実行計画(改定)」に基づき、市の事業実施に伴い発生する温室効果ガスの発生抑制に取り組みます。また、「電力の地産地消可能性調査」の結果に基づき、市域で発電した電力を市域で消費する取組みを検討します。さらに、カーボンオフセット事業による「CO ₂ 吸収量認証制度」を活用した取組みを進めます。	環境政策課	1,800
地球温暖化防止 地域計画の推進	第2次豊中市地球温暖化防止地域計画(改定)に基づき、 <u>市民・事業者に向けた地球温暖化対策の普及啓発や、省エネルギー行動を促すキャンペーン等を通して市域の温室効果ガスの削減を推進します。</u> また、 <u>森林環境保全に関する自治体間連携協定に基づき、自然体験型環境学習を実施することにより、森林保全による温暖化対策について啓発します。</u>	環境政策課	12,243
スマートハウス等 支援事業	住宅の省エネルギー性能の向上を図り、家庭部門における温室効果ガスの削減を推進するため、市内の住宅におけるスマートハウス化に関する補助金を交付するとともに周知啓発を行います。	環境政策課	24,067
電気自動車等購入 支援補助金	【新規】 <u>電気自動車(EV)や燃料電池自動車(FCV)、プラグインハイブリッド車(PHV)を購入する事業者に対して、国の補助制度とも連動しつつ、購入補助を実施します。</u>	環境政策課	10,016
交通対策事業	「豊中市公共交通改善計画」に基づく事業として、豊中東西線への運行補助、乗合タクシーの運行委託を実施します。また、各交通事業者と会議、連絡調整、交通課題への対応等を行います。	交通政策課	85,000

《目標3》

事業名称	内 容	主な 担当部局	予算額 (千円)
廃棄物関連計画の 推進	「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」及び「第4次豊中市ごみ減量計画」に掲げる事業の実施並びに成果指標・モニター指標を使った計画の進行管理を行うとともに、市のホームページ等を通じ進行状況を公表します。	減量計画課	1,788
ごみ減量普及啓発 事業	プラスチック類の削減に向けた取組みや食品ロス削減に関わる周知、地域のイベント等におけるフードドライブの支援、SNSを活用した情報発信など、ごみの減量とリサイクルを推進します。 ごみの減量及びリサイクルに取り組む店舗を「豊中エコショップ」として認定し、事業者の環境保全に対する意識の高揚を図るとともに、地域デジタルポイントなどを活用し、制度の拡充に取り組みます。また、事業所から排出される厨芥類の削減に向け、生ごみ処理機設置補助制度を実施します。	減量計画課	13,214
事業ごみ減量対策 事業	事業活動に伴い多量の一般廃棄物を排出する事業所に対してごみ減量計画書の提出を求め、それに基づき取組み状況を立入調査で確認・助言するとともに、他の事業所での先進的な取組み事例等の紹介を情報誌の発行を通して提供するなど、事業者の自発的な取組みを支援します。	事業ごみ 指導課	556
再生資源集団回収 報奨金交付事業	再生資源を回収する登録市民団体や登録行商者に対して再生資源の回収量に応じた報奨金を交付します。 リサイクルの推進に向けて、多くの市民に集団回収活動に参画していただけるよう、未実施である地域団体への積極的なPR活動を展開し、新規登録団体の獲得を図るとともに、既存の登録団体に対しても回収量増に向けた働きかけを行い、地域コミュニティの維持、活性化に繋げていきます。	家庭ごみ 事業課	32,192
分別周知事業	市民から、ごみの分別を通じた3R推進の取組みへの理解と協力を得るため、広報活動の充実化として、 <u>ごみカレンダーの作成・全戸配布等の取組みにより、市民サービスの質的向上を図ります。</u>	家庭ごみ 事業課	26,166
小型家電リサイク ル事業	公共施設等に専用の回収ボックスを常設し拠点回収を行い、ごみの減量及びリサイクルの推進を図ります。	家庭ごみ 事業課	176
リユース事業	<u>家庭で不要となった子ども服や家具類などをリユースすることにより、資源の有効活用及びごみの発生抑制を図り、ごみの減量を促進します。</u>	家庭ごみ 事業課	185

《目標4》

事業名称	内 容	主な 担当部局	予算額 (千円)
みどりの基本計画 進行管理事業	計画目標及びモニター指標を用いて、施策に基づく事業の状況把握と評価を行うとともに、豊中市環境報告書「とよなかの環境」や市のホームページなどで進行管理に関する内容を公表し、施策に基づく事業の推進に反映します。	公園みどり 推進課	10
緑化推進事業	市民や事業者等が取り組む緑化活動に対する支援として、 <u>緑化樹の配付や道路沿いに設置する生垣や植樹への助成、ご近所3軒以上のグループで取り組む花壇活動など民有地緑化の推進のほか、市民緑地設置管理計画の認定や緑地協定の認可等を行います。</u>	公園みどり 推進課	14,817
みどりの交流会 運営事業	<u>みどりのカーテンプロジェクト、花苗プロジェクト、地域みどり学習プロジェクトにおけるプロジェクト活動を推進するとともに、運営委員会等で企画するイベントにより、みどりの適正な保全や緑化活動を推進します。</u> また、花とみどりの名所マップづくりなどを推進します。	公園みどり 推進課	1,309
地域美化活動事業	公共の場所を個人、団体が自主的に清掃する地域美化活動に対して、市がごみ袋の提供や清掃用具等の貸出し、ごみの回収等の支援を行います。	美化推進課	5,887